『奨学金継続願』入力準備用紙

「奨学金継続願」を提出（入力）する前に、各設問の答えを記入し準備してください。

1／6画面

A－奨学金継続願について

「奨学金継続願」は、次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が奨学金継続の可否等を判断します。願出を提出しても必ず継続して貸与されるとは限りません。

B－誓約欄

日本学生支援機構理事長　殿

奨学金継続願の提出にあたっては、正しく記入することを誓約します。

入力当日の日付を入力してください。

平成［　　］年［　　］月［　　］日　半角数字

氏名（全角カナ）　姓（15文字以内）［　　］　名（15文字以内）［　　］

生年月日（和暦）［　　］［　　］年［　　］月［　　］日生　半角数字

正しく生年月日を入力してもエラーとなる場合は、学校に確認してください。

2／6画面

C－あなたの個人情報

あなたの個人情報と貸与明細が表示されますので、確認してください。

D－奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの奨学金の振込みを希望しますか。

○奨学金の継続を希望します　○奨学金の継続を希望しません

「奨学金の継続を希望しません」を選択した場合は、3月までの貸与となり、4月以降は振り込まれません。
この画面の送信ボタンを押すと、入力内容確認画面が表示されます。

E－あなたの返還誓約書情報（平成22年度以降採用者）

登録済みの返還誓約書情報が表示されますので、確認してください。

住民票住所、電話番号は変更しましたか。

○　はい　　○　いいえ

あなたの住民票住所・電話番号・携帯電話番号に変更・訂正がある場合は、「住所を変更する」ボタンから変更・訂正できます。

その他の変更・訂正がある場合には、「奨学金継続願」を提出後に学校に届出てください。

あなた自身の住民票住所又は電話番号のいずれか一方のみを変更・訂正する場合、変更がない項目も入力する必要があります。

【人的保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報（住民票住所・電話番号・携帯電話番号）
- 連帯保証人の情報（漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先）
- 保証人の情報（漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住民票住所・電話番号・携帯電話番号・勤務先）

【機関保証選択者】次の内容が表示されます。

- あなた自身の情報（住民票住所・電話番号・携帯電話番号）
- 連絡先の情報（漢字/カナ氏名・生年月日・続柄・住所・電話番号・携帯電話番号）

・表示された内容に変更がある場合は、学校に届け出てください。
※ただし、下線の引かれた項目のみの変更は、今回届け出る必要はありません。

3／6画面

F－返還の義務

○返還の義務を自覚している

○返還の義務を自覚していない

G－学業不振の場合の処置

○学業不振の場合の処置について理解している

○学業不振の場合の処置について理解していない

・「返還の義務を自覚していない」を選択すると、奨学生としてふさわしくないと判断され、次の画面に進めません。

借りた奨学金は貸与終了後に必ず返還する義務があります。ここでは、あなた自身が返還の義務を自覚しているかどうかを確認します。

・「学業不振の場合の処置について理解していない」を選択すると次の画面に進めません。

学業不振により、修了の延期が確定している（又は可能性が極めて高い）場合は、「廃止」又は「停止」の処置がとられます。

4／6画面－1

H－経済状況

1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。
あてはまるものを一つ選択してください。

○（1）好転した　○（2）ほぼ変わらない　○（3）苦しくなった

2. あなたは現在父母と同居していますか。

○（1）はい　○（2）いいえ

4／6画 面 －2

3. あなたの 2017 年 12 月（2018 年 4 月入学者は 2018 年 4 月）から 2018 年 11 月の**収入**に関する金額を記入してください。収入及び支出の種類別に記入し、二重に計上しないよう気をつけてください。（金額は 1 万円未満を切り捨てて記入）

現在の経済状況をふまえ、貸与を受けている奨学金の月額が適切か判断する目安とします。
支出に比べて収入が一定額以上多いときには、適切な貸与月額を選択するよう、学校担当者による面接等、指導を受けることになります。

収入計算のポイント

月額ではなく、1年間（または 8 ヶ月※2018 年 4 月入学者）の収入を計算してください。

【例】毎月 3 万円ずつ家庭から送金を受け、そのほかに、授業料(70 万円)のうち半分の 35 万円を家庭が直接学校に支払った。
残りの授業料（35 万円）は、機構の奨学金から 30 万円を支払い、毎月 2 万円の長期アルバイト給与と短期アルバイトの給与 1 万円の中から 5 万円を支払った。

家庭からの送金 36 万円（3 万円×12 ヶ月※2018 年 4 月入学者は 8 ヶ月）＋35 万円＝71 万円 ⇒ 「5）父母等からの給付」に記入
長期アルバイト 24 万円（2 万円×12 ヶ月※2018 年 4 月入学者は 8 ヶ月）＋短期アルバイト 1 万円＝25 万円 ⇒ 「1）アルバイト等収入」に記入

あなたの収入の種類	百万	十万	万		注意事項等
1）アルバイト等収入 （定職収入含む）				万円	
2）配偶者の定職収入 （定職収入のある配偶者がいる場合に記入）				万円	配偶者のアルバイト収入は、定職収入に含みません。
3）日本学生支援機構の奨学金（自動表示） ※併用貸与者は第一種奨学金と第二種奨学金の合計額が表示されます				万円	以下の奨学金は自動表示に含まれていません。2017 年 12 月から 2018 年 11 月に振込まれた金額をご自分で確認し、3．6）「その他」に含めてください。 ・第一種奨学金とあわせて振り込まれた「入学時特別増額貸与奨学金」 ※第二種奨学金とあわせて「入学時特別増額貸与奨学金」が振り込まれた場合は自動表示に含まれます。 ・緊急採用（第一種）奨学金 ・辞退した奨学金（併用貸与であったがいずれかを辞退した場合） ・海外留学支援制度（給付型）の奨学金 ・官民協働海外留学支援制度（給付型）の奨学金
4）日本学生支援機構以外の奨学金				万円	大学・地方公共団体・民間団体などから奨学金を受けている方は、その年額（または 8 ヶ月分の金額※2018 年 4 月入学者）を記入してください。
5）父母等からの給付 （父母等が支払った授業料・家庭からの仕送りを含む）				万円	
6）その他 （貯蓄の取崩額・臨時収入等）				万円	上記3．3）で自動表示に含まれていない日本学生支援機構の奨学金も3．6）「その他」に含めてください。
収入合計（自動表示）　★				万円	

4. あなたの 2017 年 12 月（2018 年 4 月入学者は 2018 年 4 月）から 2018 年 11 月の**支出**に関する金額を記入してください。
種類別に記入し、二重に計上しないよう気をつけてください。（金額は 1 万円未満を切り捨てて記入）
※H-2．の回答によって、画面表示が異なります。①②どちらかのみを記入してください。

① **H-2で「(1)はい」**を選択した場合→**父母と同居されている方**の画面が表示されます。

あなたの支出の種類	百万	十万	万		注意事項等
1）学費 （授業料・施設費などの学校納付金等を含む）				万円	【含まれるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留学費用　等 ・入学以前に支払った授業料等は、こちらに含めますが、入学金は4．5）「その他」に含めてください。 ・授業料等減免された方は減免後の金額記入してください。 ・授業料等全額免除された方は「0」を記入してください。
2）修学費 （教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む）				万円	【含まれるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場等
3）食費 （外食費用）				万円	・外食した時の経費を含めてください。 ・あなたの収入3．5）に、家庭が負担した食費を含めた場合は、その金額も含めます。
4）通信費 （携帯電話等の通信費含む）				万円	【含まれるもの】 携帯電話等の通信費用・インターネット費用　等
5）その他 （医療費、娯楽・し好費等）				万円	【含まれるもの】 医療費・娯楽費・間食代・理容美容代・自動車学校の講習費・社会保険料　等
6）機関保証制度の保証料（自動表示）				万円	保証料の合計が自動表示されます。 ※人的保証制度を選択している方は「0.00」と表示されます。
支出合計（自動表示）　☆				万円	

4／6画 面 －3

② H-2で「(2)いいえ」を選択した場合→**父母と同居していない方**の画面が表示されます。

あなたの支出の種類	百万	十万	万		注意事項等
1）学費 （授業料・施設費などの学校納付金等を含む）				万円	・2頁の4. ①1）「学費」の欄を確認してください。
2）修学費 （教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む）				万円	【含まれるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場　等
3）家賃 （共益費等を含む。敷金・礼金等の特別支出を除く）				万円	【含まれるもの】 管理費等 ※敷金・礼金等の特別支出は4. ②6）「その他」に含めてください。
4）食費				万円	【含まれるもの】 外食費、自炊の為の材料費、食事つきの下宿などで下宿に食費として支払う額
5）光熱水料通信費 （携帯電話等の通信費含む）				万円	【含まれるもの】 携帯電話等の通信費用、インターネット費用、水道光熱費、暖房費等
6）その他 （医療費、娯楽・し好費等）				万円	【含まれるもの】 医療費、娯楽費、間食代、理容美容代、自動車学校の講習費、社会保険料、帰省のための交通費　等
7）機関保証制度の保証料　（自動表示）				万円	保証料の合計が自動表示されます。 ※人的保証制度を選択している方は「0.00」と表示されます。
支出合計（自動表示）　☆				万円	

5. あなたの 2017 年 12 月から 2018 年 11 月の収入と支出の差額

収入合計（★）　－　支出合計（☆）　＝（　　）万円　　（自動表示）

※ 実際の画面は自動表示されますが、事前に、3. 収入合計（★）から4. 支出合計（☆）を差し引いて計算してください。

※ 差額がマイナス（支出＞収入）の場合、入力時に次の画面に進むことができません。 金額に間違いがないか確認してください。

6. あなたの経済状況を具体的に説明してください。（記述式　全角200文字以内）

5／6画 面 －1

I－学生生活の状況

1. この1年間の学生生活の状況などを記入してください。例）課外における活動の参加、ボランティア等の社会参加（記述式 全角200文字以内）

J－学修の状況

1.（1） この 1 年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。

○（a） 全部もしくはだいたい出席した　　○（b） （a）以外

（2） （1）で（b）を選択した人はその理由を具体的に説明してください。（記述式　全角200文字以内）

5／6画 面 －2

2.（1） この1年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。

○（a） 熱心に取組んだ　　○（b） 取組みが不十分だった

（2） （1）で（b）を選択した人はその理由を具体的に説明してください。（記述式　全角200文字以内）

6／6画 面

Kーアンケート（参考）

※奨学事業実施上の参考とするため次のアンケートにお答えください。
なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。

設問1 奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。

○（1）修学が困難（不可能）となった

○（2）修学は可能であったが、自分が学びたい分野や学校での修学は困難となった

○（3）修学は可能であったが、アルバイト等が不可欠で、勉学に支障が出た

設問2 奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。

○（1）増加した　○（2）やや増加した　○（3）あまり変わらなかった

設問3 現在、貸与を受けている月額についてお答えください。

○（1）適切である　○（2）少ない　○（3）多い

貸与月額が多いと感じている方へ

現在の貸与月額よりも少ない月額が選択可能な場合は、月額を減額することができます。
また、今後奨学金が不要となった場合は辞退も可能です。
手続方法については学校へ問い合わせてください。

設問4 設問3で（2）（3）を選択した方は、3 万円～22 万円の中から、あなたが適切だと思う貸与月額を記入（万単位）してください。
なお、本設問に回答された月額の貸与が受けられるわけではありません。（記述式　全角50文字以内）

最後に、全ての設問に記入漏れや誤りがないか、確認したうえで入力を始めてください。

（明らかな誤入力等が見受けられる場合、学校から照会・訂正指導を行うことがあります。）

- 入力中、一つの画面で **30 分**以上経過した場合はタイムアウトとなり、最初から入力しなくてはなりません。
- **併用貸与者**は、それぞれの奨学生番号で入力する必要があります。
- 6／6画面まで入力すると、入力内容確認画面**「奨学金継続願情報一覧」**が表示されますので、入力内容に誤りがないか等を必ず確認し、画面を印刷してください。
- **「奨学金継続願情報一覧」**の内容に誤りがなければ**「送信」ボタン**を押してください。送信後は、提出内容を確認することができません。送信後に内容訂正が必要になった場合は、至急学校に申し出てください。（訂正できない項目もありますのでご注意ください。）
- **送信後に受付番号が表示されますので、必ず印刷のうえ、下のメモ欄にメモしてください。**
  「継続を希望しません」を選択した場合も受付番号が表示されますのでメモしてください。
- 入力時の情報は、在学校または本機構で、調査・統計等に使用させていただく場合があります。（個人が特定されることはありません。）

！！！必ず記入してください！！！
あなたの受付番号は（16 桁）　□□□□□□□□ ― □□ ― □□□□□□

収入・支出　入力時の注意

下記のように入力していると、次の画面に進むことができません。確認・訂正してください。

- 小数点が入力されている
  ⇒ 1 万円未満は切り捨てて入力してください。
- 空白の項目がある
  ⇒ 全ての項目を入力してください（自動表示除く）。
- 差額がマイナス（支出＞収入）
  ⇒ 入力した金額に間違いがないか確認してください。

提出は「スカラネット・パーソナル」から！

https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/

本当に必要？借り過ぎ注意！